

●マブンガをモデルに描いたイラスト  
●滋賀一二河戦の試合告知 いずれも©Komatanii-esorakobo

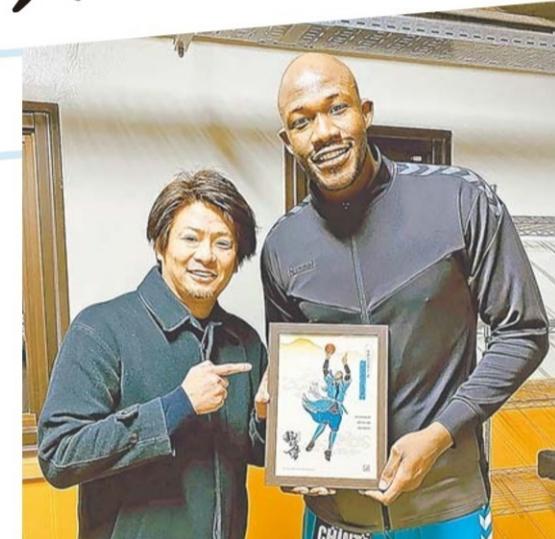


(伊藤恵)

プロバスケットボールBリーグの選手たちを描いた「浮世絵風イラスト」が、バスケファンの間で話題だ。作者は京都市右京区のイラストレーター駒谷潤さん(42)。新型コロナウィルスの影響を受けたリーグ中止に心を痛めながらも「盛り上がりの火を消さないために」と、京都ハンナリーズの作品を中心に発信を続ける。

# アリーガー侍 コロナに屈さぬ

## 京都ファンの「絵師」



京都ハンナリーズのマブンガ(右)に  
イラストを手渡した駒谷さん

甲冑姿で羽織をなびかせ、足元にはバスケシューズ。合戦で躍動する武士を思われる作品の数々を、昨年6月ごろからインスタグラムやツイッターに投稿している。選手本人から感想が届くことも多く、「特に外国人選手は、『侍』になることを喜んでくれる」とやりがいを感じている。

今は熱心なハンナリーズブースター(ファン)だ。昨年2月、男子日本代表が13

ドで投稿してきた。日本代表ニック・ファジーカスらの作品が、所属先であるB1川崎のW杯壮行会で飾られ、滋賀レイクスターズの試合告知も手がけられるなど依頼も増えた。今季はジュリアン・マブンガら京都の選手と対戦相手が共演するイラストを、金方1

年ぶりのワールドカップ(W杯)出場を決めたことがきっかけで「世界に立ち向かう侍」のイメージが膨らんだ。グラフィックデザイナーの仕事と並行して、イラスト制作を始めた。妻の真奈さん(37)に和装でシートなどのポーズをとつてもらい、しわの出方を研究。線を多く描き込みすぎないことで浮世絵らしさを出した。

## #いまスポーツにできること

駒谷さんの  
インスタグラム  
esora\_design1620